

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和5年度調査) オンライン資格確認システムに係る診療報酬上の対応の実施状況調査

ご回答方法

- ◎あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。
- ◎「※○は1つ」という質問については、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
- ◎（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ◎（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「－」をご記入ください。
- ◎特に断りのない限り、令和5年7月1日現在の貴施設の状況についてお答えください。
- ◎災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

◎ 貴施設の状況についてお伺いします。（令和5年7月1日現在）

問1 所在地 (都道府県・市区町村)	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村					
問2 開設者 ※○は1つ	01 個人		02 法人		03 その他	
問3 標榜診療科 ※該当するもの全てに○	01 歯科	02 矯正歯科	03 小児歯科	04 歯科口腔外科		
問4 管理者の年齢 ※○は1つ	01 20代	02 30代	03 40代	04 50代	05 60代	06 70代以上

◎ オンライン資格確認等の実施状況についてお伺いします。

問5 オンライン資格確認等システムの導入状況をご回答ください。 ※○は1つ
01 稼働中 02 準備中のため稼働していない 03 義務化対象外のため稼働していない

問5で「02 準備中のため稼働していない」または「03 義務化対象外のため稼働していない」と回答された場合でも、引き続き問6以降をご回答ください。

問6 電子カルテシステムの導入状況をご回答ください。 ※○は1つ *電子カルテシステムとは、電子カルテの三原則（「真正性」「見読性」「保存性」）を満たし、電子的に管理されているカルテを指します。レセプトコンピュータ（いわゆるレセコン）はレセプト（診療報酬明細書）を作成するもので、電子カルテシステムとは異なります。			
01 稼働中		02 未導入	
【問5で「01 稼働中」かつ問6で「01 稼働中」と回答した場合、問6-1にご回答ください】			
問6-1 オンライン資格確認等システムから電子カルテシステムに情報（資格情報や診療情報・薬剤情報・特定健診情報等）が自動転記されるよう連携していますか。 ※○は1つ *一部の情報のみでも自動転記される場合は「01」をお選びください。			
01 自動転記できるよう連携している (一部の情報のみ自動転記で連携している)		02 自動転記されないが閲覧が可能である (※PDF等でダウンロードした閲覧も含む)	
03 連携していない(02の場合を除く)			
【問6-1で「01」または「02」と回答した場合、問6-2にご回答ください】			
問6-2 自動転記または閲覧が可能な情報として該当するものをお選びください。※該当するもの全てに○			
①自動転記している情報	01 資格情報	02 診療・薬剤情報	03 特定健診情報等
②閲覧可能な情報	01 資格情報	02 診療・薬剤情報	03 特定健診情報等

問 7 レセプトコンピュータの導入状況をご回答ください。 ※○は 1 つ		
01 導入済	02 導入予定	03 導入予定はない
【問 7 で「01 導入済」と回答した場合、問 7-1 にご回答ください】		
問 7-1 どのような方法でレセプトを請求していますか。 ※○は 1 つ		
01 オンライン	02 電子媒体（光ディスク等）	03 紙
【問 7-1 で「02 電子媒体（光ディスク等）」と回答した場合、問 7-2、問 7-3 にご回答ください】		
問 7-2 医療情報・システム基盤整備体制充実加算の施設基準である「オンライン請求を行っていること」に関する特例措置として、2023 年 12 月末までにオンライン請求を開始する旨の届出 ^{注 1} をしていますか。 ※○は 1 つ		
01 届出済	02 未届出	
問 7-3 届出したオンライン請求の開始予定時期をご回答ください。（届出に記載の開始時期を記入）		
西暦（ ）年（ ）月		

注 1 医療情報・システム基盤整備体制充実加算を算定する保険医療機関・薬局の施設基準として、オンライン請求を行っていることが要件とされているところ、オンライン請求を行っていない保険医療機関・薬局がオンライン請求を令和 5 年 12 月 31 日までに開始する旨の届出を行った場合には、令和 5 年 12 月 31 日までの間に限り、この要件を満たすものとみなされる。

問 5 で「02 準備中のため稼働していない」または「03 義務化対象外のため稼働していない」、問 7-1 で「03 紙」と回答した施設（いわゆるオンライン資格確認システムの義務化対象外の施設）におかれましては、質問は以上です。ご協力ありがとうございました。それ以外の施設におかれましては、引き続き問 8 以降にご回答ください。

問 8 医療情報・システム基盤整備体制充実加算における施設基準 ^{注 2} を満たしていますか。 ※○は 1 つ	
01 満たしている（特例措置を含む）	02 満たしていない

注 2 (1) 電子情報処理組織を使用した診療報酬請求を行っていること。
 (2) オンライン資格確認を行う体制を有していること。オンライン資格確認の導入に際しては、医療機関等向けポータルサイトに運用開始日の登録を行うこと。
 (3) 次に掲げる事項を当該保険医療機関の見やすい場所及びホームページ等に掲示していること。(ア) オンライン資格確認を行う体制を有していること。(イ) 当該保険医療機関を受診した患者に対し、受診歴、薬剤情報、特定健診情報その他必要な診療情報を取得・活用して診療を行うこと。

【問 8 で「01 満たしている（特例措置を含む）」と回答した場合、問 8-1～問 8-4 にご回答ください】	
問 8-1 令和 5 年 4 月～6 月末における医療情報・システム基盤整備体制充実加算の算定件数の合計（3 か月分）をご回答ください。算定がない場合は「0」（ゼロ）とご記入ください。	
①医療情報・システム基盤整備体制充実加算 1	件
②医療情報・システム基盤整備体制充実加算 2	件
③医療情報・システム基盤整備体制充実加算 3	件
【問 8-1 で「①医療情報・システム基盤整備体制充実加算 1」を 1 件以上算定している場合、問 8-2、問 8-3 にご回答ください】	
問 8-2 「医療情報・システム基盤整備体制充実加算 1」の算定理由をご回答ください。 ※該当するもの全てに○	
01 患者がマイナンバーカードを持参しなかった	
02 マイナンバーカードを持参したが、診療情報等の活用に同意しなかった	
03 患者のマイナンバーカードが破損等により利用できなかった	
04 その他（具体的に： _____）	

問 9-3 マイナンバーカードの健康保険証利用による診療情報・薬剤情報・特定健診情報の活用に関し、患者にとってどのようなメリットがあると感じていますか。該当するものをお選びください。		
	該当する もの全て に○	最大の もの一つ に○
①診療情報・薬剤情報・特定健診情報の伝え間違い／伝え忘れが減った		
②問診票に記載する内容が少なくなり手間が減った		
③医療スタッフが診察の中で診療情報・薬剤情報・特定健診情報に触れる等して、 情報が診察に活用された		
④複数の医療機関で処方されている医薬品の重複や飲み合わせの問題等が分かり処 方を調整できた		
⑤その他（具体的に：_____）		
⑥特にない・わからない		

質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒で令和5年8月31日(木)迄にご返送下さい(切手不要)。